

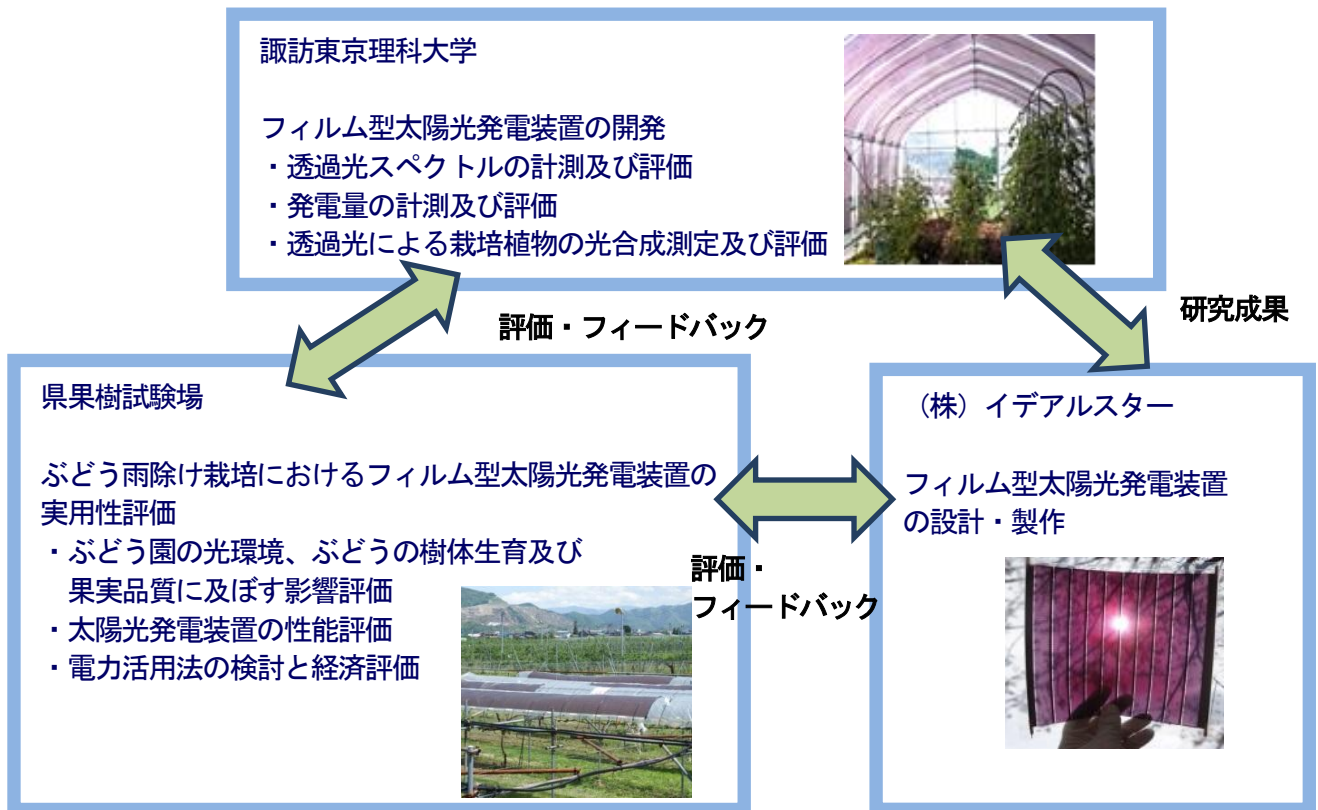
課題名	「農業生産と両立できる太陽光発電装置の開発と活用方法の確立」
担当場・部・氏名	果樹試験場 栽培部 船橋徹郎

### 背景・目的

農業分野では、自動かん水装置や電気牧柵などで太陽光発電装置が利用されており幅広い電力の利用が予想される。ぶどう栽培では雨除け栽培も行われており、今後は、温暖化における日焼け防止のため遮光資材の導入も想定される。フィルム型太陽光発電装置は、雨除け、遮光を兼ね、かん水装置や害虫駆除のLED ランプ等への電力供給が可能となり、ぶどうの低コスト安定生産につながると期待される。

### 試験研究の構成・実施体制

大学、企業等の他分野と連携しフィルム型太陽光発電装置を開発し、フィルム型太陽光発電装置のぶどう雨除け栽培における実用性評価する。



### この研究で見込まれる成果・達成目標

1. 遮光や雨除けを兼ねたフィルム状の太陽光発電装置の開発
2. フィルム状の太陽光発電装置のぶどう雨除け栽培での実用化
3. 発電と遮光によるぶどう雨除け栽培の安定生産

### 生産・消費場面における普及・活用

農業生産と発電の両立

得られた電力の営農利用による栽培環境の改善